

桐生西ロータリークラブ会報



2024-2025年度 RI テーマ ステファニー A. アーチックRI会長
「THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック」



例会場・事務局 日本料理うおせん 桐生市広沢町1-2689
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-47-7061
URL <http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi> FAX 0277-47-7062

会長 山同輝和 公共イメージ委員長 小林 聡 会報・ロータリーの友担当 新島健介
幹事 早川勇一 公共イメージ委員 花房孝道、今泉攻一、栗原秀一(広報・CICO担当)

No. 2353

2025年5月16日発行

祝 第2500例会 (2025.4.18) 報告



- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 8. 幹事報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 9. 乾 杯 |
| 3. ロータリーソング (奉仕の理想) | 10. 食 事 |
| 4. 来訪者紹介 | 11. 委員会報告 |
| 5. 委嘱状伝達 | 12. 消防職員意見発表 |
| 6. 出席100%表彰・誕生祝・結婚祝 | 13. 外部卓話 |
| 7. 会長報告 | 14. 点 鐘 |

◆ビジター紹介

桐生みどり消防署	副士長 高橋 雄大 様
同 大間々新里分署	副士長 石原 康平 様
桐生市消防本部	元消防長 石内 和久 様
桐生市消防本部	総務課 五十畑貴之 様

◆委嘱状伝達

2025-2027年度
米山カウンセラー

中里 和子 君



◆出席100%表彰

花房 孝道 君
(33年)
青山 豊 君
(11年)



◆誕生祝い

山形 剛 君
城越 敦子 君 (欠席)



◆結婚祝い



江原 利夫 君、野田真一郎 君、山同 輝和 君
山形 剛 君、大屋 昌太 君

◆会長報告

山同輝和会長

1. 本日は2500回の節目の例会です。SAAさんが記念のお菓子を用意いたしましたのでお持ち帰りください。
2. 桐生西RC内特別会員申請と、クラブ細則第6条第2節に基づいて導入された会費分納特別措置制度の申請を4月15日から受け付けております。締め切りは5月15日ですので申請を希望される方は早めをお願いいたします。
3. 4/20(日) 前橋問屋センター会館に於いて「新規 米山記念奨学生・カウンセラー オリエンテーション」が行われます。中里君が参加して下さいます。

◆幹事報告

早川勇一幹事

◇例会変更のお知らせ

桐生RC 4/28 (休)
桐生南RC 4/23 夜間例会、4/30 (休)
桐生赤城RC 4/22 早朝健康診断、4/29 (休)

他5RCより

◇クラブ会報が到着しております

桐生RC 3/3、3/10、3/31、4/7
桐生南RC 3/5、3/12、3/19、3/26
桐生赤城RC 3/11、3/18、3/22、4/1、4/8
栃尾RC 3/18、3/25

◇その他

- ・ 4月のレートは1ドル「150円」となります。
- ・ 「ロータリーの友 4月号」が届いております。
- ・ 森ガバナース事務所より「ガバナー月信 4月号 (Vol.10)」が届いております。
- ・ 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま (Vol. 301)」が届いております。
- ・ 米山梅吉記念館より「館報 春号」が届いております。
- ・ I A 海外研修に行かれた河内君、小林聡君よりお土産をいただきました。

桐生西ロータリークラブ

- ・元米山記念奨学生ゲン ティ マイ フォン君よりお土産が届いております。
- ・S A Aの中里君よりドリンクの差し入れを戴きました。
- ・伊勢崎東RCより「創立30周年記念誌」が届いております。
- ・安中RCより、創立60周年記念式典のお礼状が届いております。
- ・伊勢中央RCより、創立50周年記念式典のお礼状が届いております。
- ・桐生商工会議所より「桐生商工だより4月号(Vol.838)」届いております。
- ・樹徳高校より「樹幹だより」他が届いております。
- ・(株)生駒時計店より「2025-2026年のカタログ」が届いております。
- ・例会終了後「定例理事会」を開催いたします。

◆乾杯

出席100%表彰

花房 孝道 君



33回の出席100%をいただきました。

入会したのが昭和61年。39年前なんです。欠席すると前後一週間にメイクをしないと欠席扱いになり、当時は40ちょっとでしたので、会社も忙しくてなかなかメイクも出来ず6年くらいは出たり出なかったりしておりました。それ以降は連続して今33回いただきました。今度は、3000例会、後10年くらいありますけど、そこまでなんとか長生きしてクラブに入っていきたいなと思っております。それでは、皆様の健康を祝し、またRCの益々の発展を祈念して乾杯をしたいと思います。ご唱和下さい。乾杯！🍷

本日のメニュー

- ・えび天丼
- ・筍煮
- ・あさりのお吸い物
- ・デザート(スイカ)
- ・漬物



◆委員会報告

●クラブ運営委員会

◇出席報告

松島共由 R 財団担当

会員総数 50名
出席率対象者 46名、対象出席者 36名
出席率 78.26%

●R財団・米山奨学委員会

◇ニコニコBOX 大屋昌太ニコニコBOX担当

3/21外部卓話にてご来訪いただきました、元クラブ会員 清水重昭様よりご厚志をいただいております。

例会2500回を祝して 早川幹事
消防職員の皆さま 宜しく願い致します

前原君、霜村君、浦野君
例会2500回を記念して 花房君、坪井君、小林恵司君
職場訪問では大変お世話になりました 高森君
戦争反対 カンゼイ反対 野村君
リサイクル募金で協力ありがとうございます 船戸君
もう「夏日」なんて早すぎませんか？ 野田君

◇R財団

松島共由 R 財団担当

例会2500回を祝して 早川幹事
消防職員の皆様 宜しく願い致します
前原君、小林恵司君、野村君、浦野君
◎2500回例会 坪井君、須田君
出席100%をいただいて 花房君
結婚祝をありがとうございます 野田君、大屋君
奉仕プロジェクト委員長orスタッフ
ありがとうございました 霜村君
大間々高校進路支援講話ご協力をお願いします 高森君
昨日植えた里芋の苗を、万端で耕して植え替えました。
10個位です。 船戸君

◇米山奨学

青山桃子米山奨学担当

石原様 高橋様 宜しく願い致します。 浦野君
消防職員様 昨夜、ホットグンマで出勤回数が増えているのを見ました。大変ですね。 船戸君
◎2500回例会 坪井君、小林恵司君
会長・幹事！ゴールまであと少しですネ
頑張ってください 高森君
クラブ運営委員長orスタッフありがとうございました。 霜村君
ラグビートップリーグ 埼玉パナソニックが1位で
決勝トーナメントに進みます。6月1日が決勝戦です
『ベルズ イン みどり』よろしく願いいたします 花房君
野村君

●会員組織委員会

浦野幸子会員増強担当

山同年度も残り5～6月となりました。新年度で忙しかつたと思いますが、残り2ヶ月精を出してご協力の程よろしくお願い申し上げます。チームで情報共有して進めていただければと思います。何卒よろしくお願い致します。

●クラブ運営委員会

新井みゆき委員長

3/29「春の親睦日帰りバス旅行」、4/5「職場訪問」にご参加いただきありがとうございました。高森奉仕PJ委員長ともども、楽しい旅行が出来ました事に感謝いたします。ありがとうございました。

●公共イメージ委員会 新島健介会報・Rの友担当

ロータリーの友2025年4月号

4月は、環境月間です。

(横組P.7～13) 目指せ！防災のTKB48

(避難所のストレスをいかに減らすか)

TKB48はアイドルグループの名前ではなく「トイレ・キッチン・ベッドを避難場所に48時間以内に整備する事を目指した取り組みの事です。」

日本と同様、災害多発国イタリアでは、国主導でこのシステムを取り入れています。今回、防災に関する日本とイタリアの違いやイタリアに学ぶ、防災術に触れています。いかに、現在の日本政府の対策や対応が遅れているかが、比較表で丸分りです。又、実際にRCの活動として人吉RC「命のキッチンカー、被災地へGO！」(P.12)大阪平野RCの「緊急車両・トレーラートイレ出動！」(P.13)の記事もあります。

興味深い記事としましては、(P.11)に横浜旭RC災害対策委員会の取組が載っています。

群馬に在住の方は、対岸の火事的な見方しか出来ない方も少なくありませんが、今は何時、何処で災害が起きても不思議ではありません、自分達に置き換えて考えるべきフェーズになったのでは？

(縦組P.4～8) SPEECHには、身近な水から未来の地球を考える科学的な知見で未来を可視化してみよう

の台で、総合地球環境学研究所 谷口真人(タニグチ マコト)副所長が書かれています。

「地震と水」「地球温暖化と水」「未来の社会」の3つのテーマで語られています。人と社会と自然のつながりについて「自分ごと化」した価値体系が必要とべられてます。

(縦組P.9～12) この人を訪ねてでは、水戸好文RCの川上美智子さんが特集されています。「香りの博士」の地域貢献と絶妙なライフワークバランス。

前半は、香りとお茶について、後半は、社会的弱者、女性や子供の支援に焦点を合わせた、奉仕活動について書かれています。

4月号も是非、時間がある時に読まれて下さい。

◇『ベルズインみどり』

野村滋君

桐生タイムスと上毛新聞、経済新聞にてご紹介させていただいております



「ベルズインみどり
岩宿駅前店」(仮称)

地上10階
総室数150室

※ 岩宿南口に建設
2027年2月完成予定

みどり市にホテルが無いと言う事で、かなり熱い皆様からのご要望にお応えする形となり、私共の会社でやることになります。

報道の中で「野村建設がやる」ような事が書いてありますが、野村建設グループの中に「タイムプロデュース」と言うホテル運営会社があり、その会社が野村建設に発注をして、工事をやると。総工費20億円くらいになるかと思えます。

特徴といたしましては、150室中、約25%弱にとっても安い部屋を用意しました。中学生や高校生が部活の遠征で泊まるのに、今のホテル代はとても高いと自分も思います。そこで、部屋をコンパクトにして安く泊まれる部屋をご用意します。勿論、みどり市や桐生市の企業に來られたお客様を接待できるようなVIPの部屋もご用意いたします。

ロビーには、星野物産のうどんなど、地元をアピール出来る物を置いて行ければと思っております。

客層は、ビジネスマンですが、遠方から来て下さるご家族や親戚の泊まれる場所としてなど、色々な方のご要望にお応えできるようにしたいと思えます。

また、「宴会の出来る場所がないので、宴会場も併せて作って欲しい」と言う要望が多いのですが、ホテルと宴会場を併設するという事は非常に難しいのですが、私共からみどり市に「とにかく近場にプリオパレスの小型版といいたしましょうか、そのような場所を誘致いたします」と申し上げましたので、責任をもってやろうと思っております。

9月から着工し、再来年の春にOPEN予定でございます。期待しておいてください。シンボルのタワーになるはずで。温かい目で見守っていただけると幸いです。

(株)タイムプロデュース

ベルズ・イン・土浦 (190室)

ベルズ・イン・前橋 (120室)



消防職員意見発表

◇消防職員意見発表会等について

早川幹事

1 目的

消防職員意見発表は、消防職員として日々の業務に対する提言や取り組むべき課題などについて自由に発表し、消防業務の諸課題に関する一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的として開催されているものです。

2 桐生市消防職員意見発表会について

令和6年10月17日(木)、桐生市消防本部にて開催され、各所属の代表者7名が参加し、石原副士長が最優秀賞、高橋副士長が優秀賞を受賞しました。

また、最優秀賞を受賞した石原副士長は、桐生市消防本部の代表として、第48回群馬県消防職員意見発表会に出場が決定しました。

3 群馬消防職員意見発表会について

令和7年2月3日(月)、前橋市消防局にて開催され、県内消防本部の代表者11名が参加し、桐生市消防本部の代表者である石原副士長は、最優秀賞を受賞しました。

また、最優秀賞を受賞した石原副士長は、群馬県の代表として、令和7年4月25日(金)、長野県長野市で開催される第48回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会に出場いたします。

「目線に込めて。」

大間々新里分署

副士長 石原 康平 様



「人と話すときは相手の目を見る」

皆さん、このような言葉に聞き覚えはありませんか？昔から耳にしている当たり前と感じるこの言葉を、私はある出来事をきっかけに見つめ直すことになりました。

それは、私が新型コロナウイルスに感染し、医療機関を受診した時のことです。私を担当した医師は、忙しいせいかあいづちは打つものの、ほとんど私と目を合わせることがありませんでした。私は、話しかけにくい雰囲気を感じてしまい、詳しい症状や不安な気持ちを伝えることができずに診察は終わってしまいました。これまで私は、救急救命士として幾度となく傷病者と接してきましたが、自分自身が患者となり、「目を合わせてもらえないだけ」で、こんなにも不安を感じ、素直な想いを伝えられないものかと、悲しい気持ちになりました。

心理学において提唱されているメラビアンの法則では、人の第一印象は表情や服装などの視覚的情報が半分以上の割合を占めています。しかし、私たち救急隊は、ヘルメットやマスクを着用しているため、傷病者からは目もとしか見えていません。また、胸骨圧迫等の救急処置を行っている状態であれば、両手を使用したジェスチャーさえも用いることができず、「目」だけで、こちらの想いを伝えなければいけません。日々増え続ける救急出動の中、目を見るという単純なことが疎かになり、あの時私が感じた不安を傷病者やその家族に与えてしまっていないだろうか。自身の救急活動を見つめ直しました。

そこで私は、迅速さが求められる救急現場において「あなたを助きたい」という純粋な想いを、傷病者

やその家族の心に届けるために「目線」について深く考え、自分の中で2つのルールを作り実践してみました。

1つ目は、8秒以上相手と目を合わせる「目線8秒ルール」です。人は8秒以上目が合うと相手に好印象を抱くといわれているため、傷病者やその家族が慌てても、意識的に相手の目を長く見ること、信頼関係の構築につながり、より詳細に症状や経過などの情報を聞き出すことができると考えます。

2つ目は、会話の最後に必ず相手の目を見る「目線文末ルール」です。つい目を合わせることが疎かになる、観察や救急処置中において、わずかな会話でも文末で必ず相手の目を見ることで、安心感を与えることにつながり、傷病者やその家族の不安を少しでも取り除くことができると考えます。

実際にこの「目線ルール」を意識したところ、心肺停止のような一刻を争う現場でも、相手の目を見る機会が増え、救急処置の同意や傷病者の情報が得やすくなり、救急活動全体がスムーズになったと感じています。また、ありがたいことに、傷病者やその家族から、「安心した」、「頼りになった」、「落ち着いて症状を伝えられた」などの感謝の言葉をいただける機会が増えたことで、「目線」を通じて、より相手の気持ちに寄り添った救急活動につながっていると確信しました。

「相手の目を見る」という行為に特別な研修や資格はありません。目線を通わせることで傷病者やその家族の抱く「不安」を払拭し、心の「苦痛」に寄り添うことができるのです。言葉だけでは伝えることのできない想いを届けるために、私は寄り添い続けます。「あなたを助けに来ました。あなたの不安を打ち明けてください。」そんなまっすぐな想いを、「目線に込めて。」

「My Home ～未来のために～」

桐生みどり消防署

副士長 高橋 雄大 様



「この地球全体が家である」宇宙から地球を見た多くの宇宙飛行士がこの考えに至るそうです。地球という家を守り続けていくために私たち人間は、世界共通の目標を掲げました。それはSDGsです。SDGsには、持続可能な社会を作るために、2030年までに達成すべき17の目標があります。その1つに「住み続けられる街づくりを」という目標が掲げられており、必要不可欠な取り組みです。私も消防士として何か貢献できることはないかと日々模索していました。

そんなある日、使われなくなった多くの防火衣があることを知り、今後、どのような使い道があるのかと疑問に思い、上司に尋ねました。すると「現場で使えないから処分するよ。」という回答でした。その時私は、処分されるはずの防火衣を新しいものに作り替えることで、新たな価値を見出せるのではないかと。さらには、防災グッズに作り替え、普及させることで、地域の防災にも繋がり、消防士として「住み続けられる街づくりを」そして、「つくる責任 つかう責任」といったSDGsの2つの目標に取り組みると感じました。

そこで私は、「防火衣ブランケット」の作成を提案します。

防火衣ブランケットとは、その名の通り、防火衣を再利用したブランケットで、大きく3つの用途で使うことができます。まず1つ目は、「火災時に身を守る」。防火衣の耐炎・耐熱性能を生かし、火災で避難する際に、ブランケットを頭や体に覆うことで火から身を守ることができます。2つ目は「初期消火」。防火衣の難燃性を生かし、ブランケットを火元に覆い被せることで、酸素の供給を遮断し消化することができます。3つ目は「生活的使用」。毛布のように防寒として使用でき、他にも、簡易的な枕や座布団としての活用など、災害時、物資が不足する環境下において、春夏秋冬さまざまな方法で活用できます。このように災害時に万能的に使用できる防火衣ブランケットですが、処分されるはずの防火衣を再利用するため、ローコストかつ簡易的に作成できることが大きなメリットです。

私は防火衣の有用性を知ってもらうため、消防訓練の参加者に、防火衣ブランケットの説明を行い、防火衣をブランケットに見立てて使用してもらいました。すると、「丈夫で火から身を守れるから安心できる」、「とても暖かくて落ち着けそう」などの意見をもらい、防火衣一つで市民の身体だけでなく、心も守ることができると実感し、より一層防火衣ブランケットは有用であると確信しました。

桐生市はSDGsで優れた取り組みを提案する都市として「SDGs未来都市」に選ばれています。この強みを生かし、今後は、SDGs推進課と連携して、防火衣ブランケットを作成し、避難所に常備することで、災害時に備える活動を考えたいです。また、広報活動として、PR動画の作成、SNSでの情報発信を行うことで、多くの人に知ってもらいたいです。

「住み続けられるまちづくりを」この言葉のように、私たちの住む地球を持続可能なものにするための行動は、この地球に住む者として当たり前のことなのです。

なぜなら、「この地球が私たちの家なのだから。」

※ 外部卓話：「消防行政について」は次号に掲載させていただきます。

2025年4月6日 安中RC創立60周年記念式典



2025年4月12日 前橋南RC創立40周年記念式典

